

高校全国大会出場コーチの運動観察のとらえ方

阿 部 征 次

はじめに

コーチングの効果を上げるためのコーチングの技法の中で、選手の動きを肉眼で見て判断する運動観察が、最も多く使われる技法であると思われる。コーチが選手の運動を観察する他者観察は「指導現場においては決定的な役割を果たすものであり、医師が診察するときの診断に対比される」(マイネル 文献2 P127)ほど重要なものとされている。またマイネルは運動観察の前提条件について次のように述べている。「目だけで観察し、分析するときには、印象分析というものが前景に立てられている。印象分析の信頼性は多くの要因、すなわち運動観察や運動共感に習熟していることやそれらの経験、並びに観察のスピードと多面性に左右される。印象分析は運動についての適切な知識や生起的確な言語的表現の能力をもその前提条件としている」(マイネル 文献2 P127)。

コーチングの技法として最も多く使われ重要であると思われる運動観察について、その能力が人によって異なるのか、異なるとしたらどんな要素によって違いができるのか、また運動観察の能力は訓練で養われるのか、養われるとしたらどのような方法があるのかなどは、マイネルの指摘にもかかわらず、あまり明らかにされていない。

近年、運動観察に関して実験的な研究も報告されているが(加藤 文献1)、運動観察について明らかにするためには、成果をあげているコーチたちが運動観察をどのようにとらえているかを知ることは、運動観察に関する課題の解明に有効な出発となるものと考えられる。

そこで、コーチが運動観察やその能力をどのようにとらえているかを知り、運動観察について検討する資料を得ることを目的に本研究を行った。

研究方法

対象は1990年および1991年高校全国大会出場の次の種目の、監督として登録されている421名である。回収数は278, 回収率66.0%であった。種目別の回答数は次のようになっている。

ラグビー	34	12.2%
サッカー	29	10.4%
バスケット	56	20.1%
バレーボール	71	25.5%
野球	29	10.4%
陸上競技	59	21.2%
計	278	100.0%

また、回答したコーチの平均年齢・指導年数・現在のチームの指導年数・勤務先は、下記のとおりである。

年齢	平均	43.9 (歳)	S.D 8.28
指導年数	平均	20.3 (年)	S.D 8.53
現チームの指導年数	平均	14.0 (年)	S.D 8.34
勤務先			
指導チームの教員	261	93.9%	
指導チームの職員	11	4.0%	
その他	6	2.2%	
計	278	100.0%	

対象者の平均年齢が43.9歳で指導経験年数が20.3年ということは、大学を卒業してすぐコーチとして活動していることを示している。指導年数の20.3年

に対し現在のチームの指導年数14.0年は長く、同一チームを指導することが指導効果をあげることにつながることを示しているとすることもできよう。

期間は1993年1月16日～3月10日に、質問紙法を郵送で配布し回収した。質問項目は上述のマイネルの指摘を参考に、運動観察の能力の個人差について、個人差の生じる要因について、運動観察の能力の養成法について、運動観察に関する情報についての4つのカテゴリーとその他などの32項目からなり、回答にはは5つの選択肢を設けた。

結 果

(1) 運動観察の能力の個人差について

運動を見る目の個人差に関する質問と回答は次のようであった。

動きを見る目の優れた人に会ったことがありますか

非常に多くある	77	27.7%
何度かある	141	50.7%
ある	55	19.8%
ほとんどない	5	1.8%
まったくない	0	0.0%

計 278 100.0%

動きを見る目には人によって違いがあると思いますか

非常に違う	44	15.8%
かなり違う	110	39.6%
違いがある	99	35.6%
ほとんど変わらない	25	9.0%
まったく変わらない	0	0.0%

計 278 100.0%

コーチ活動をしていて、運動を見る目に違いがあると感じることはありますか

非常にしばしば	28	10.1%
しばしば	132	47.5%
感じることもある	104	37.4%
ほとんどない	12	4.3%
まったくない	0	0.0%
無回答	2	0.7%

計 278 100.0%

運動を見る目について、95.0%が違いがあることを感じたことがあり、91.0%が違いがあることを認めていた。

(2) 運動観察の能力の違いの要因について

次は、運動を見る目の違いの生じる要因に関する質問と回答である。

運動を見る目の違いの原因は知識であると思いますか

非常に関係ある	121	43.5%
かなり関係ある	111	39.9%
関係ある	39	14.0%
ほとんど関係ない	6	2.2%
まったく関係ない	1	0.4%

計 278 100.0%

運動を見る目の違いの原因は、動きの速さについていけるかどうかであると思いますか

まったくその通り	21	7.6%
かなり関係ある	114	41.0%
関係ある	79	28.4%
ほとんど関係ない	61	21.9%
まったく関係ない	3	1.1%

計 278 100.0%

運動を見る目の違いは、選手のどこを見るかの違いであると思いますか

まったくその通り	105	37.8%
かなり関係あり	110	39.6%
そう思う	57	20.5%
ほとんど関係ない	6	2.2%
まったく関係ない	0	0.0%

計 278 100.0%

運動を見る目は年齢と関係あると思いますか

非常に関係ある	10	3.6%
かなり関係ある	101	36.3%
関係ある	68	24.5%
ほとんど関係ない	83	29.9%
全く関係ない	14	5.0%
無回答	2	0.7%

計 278 100.0%

運動を見る目は指導年数と関係あると思いますか

非常に関係ある	18	6.5%
かなり関係ある	131	47.1%
関係ある	78	28.1%
ほとんど関係ない	47	16.9%
まったく関係ない	2	0.7%
無回答	2	0.7%
計	278	100.0%

運動を見る目は、現役選手としてのレベルが高い
ほどよいと思いますか

まったくその通り	2	0.7%
かなり関係ある	70	25.2%
関係ある	60	21.6%
ほとんど関係ない	131	47.1%
まったく関係ない	14	5.0%
無回答	1	0.4%
計	278	100.0%

運動を見る目の違いの原因は、その種目についてよく知っているかどうかと、「非常に関係がある」とするものと「かなり関係がある」とするものを合わせると83.4%である。動きを見るポイントの違いとの関係を「まったく」および「かなり」認めるのは77.3%、動きの速さについていけるかどうかに「まったく」および「かなり」関係するとするものが77.0%であった。

運動を見る目の違いと関係が「非常にある」と「かなりある」を合わせた率の大きい順に項目を並べると次のようになる。

違いの原因は知識である	83.4%
どこを見るかの違いである	77.45
指導年数と関係がある	53.6%
動きの速さについていけるかどうかである	48.6%
年齢と関係がある	39.9%
現役選手としてのレベルと関係がある	25.9%

これらのことから、運動観察の能力の違いは、現役時代の競技力や年齢・指導年数より、知識や見るポイントが重要だととらえられていることが示された。

(3) 運動観察の能力の養成法について

運動を見る目の養成法に関する質問と回答を次に示す。

運動を見る目の養成には、レベルの高い試合や選手を直接見ることと関係あると思いますか

非常に関係あり	62	22.3%
かなり関係あり	149	53.6%
関係あり	51	18.3%
ほとんど関係ない	15	5.4%
まったく関係ない	0	0.0%
無回答	1	0.4%
計	278	100.0%

運動を見る目の養成には、レベルの高い試合や選手をVTRで見ることと関係あると思いますか

非常に関係あり	28	10.1%
かなり関係あり	137	49.3%
関係あり	87	31.3%
ほとんど関係ない	22	7.9%
まったく関係ない	3	1.1%
無回答	1	0.4%
計	278	100.0%

運動を見る目の養成には、レベルの高い選手を指導することと関係あると思いますか

非常に関係あり	16	5.8%
かなり関係あり	123	44.2%
関係あり	69	24.8%
ほとんど関係ない	62	22.3%
まったく関係ない	6	2.2%
無回答	2	0.7%
計	278	100.0%

運動を見る目の養成には、自チームの指導回数や時間を多くすることと関係あると思いますか

非常に関係あり	22	7.9%
かなり関係あり	101	36.3%
関係あり	87	31.3%
ほとんど関係ない	59	21.2%
まったく関係ない	7	2.5%
無回答	2	0.7%
計	278	100.0%

運動を見る目の養成は、強くしようという意欲に

よると思いますか

非常に関係あり	77	27.7%
かなり関係あり	122	43.9%
関係あり	47	16.9%
ほとんど関係ない	30	10.8%
まったく関係ない	1	0.4%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

運動を見る目は、訓練すればよくなると思います

か

非常によくなる	29	10.4%
かなりよくなる	103	37.1%
よくなる	115	41.4%
ほとんど変わらない	27	9.7%
まったく変わらない	3	1.1%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

運動を見る目の養成方法はあると思いますか

数多くある	31	11.2%
いくつかある	91	32.7%
ある	130	46.8%
ほとんどない	21	7.6%
まったくない	2	0.7%
無回答	3	1.1%

計 278 100.0%

運動観察の能力が養成されるのに、「非常に関係が深い」と「かなり関係がある」を合わせた率の高い順は次のようになっている。

レベルの高い試合や選手を直接見る	75.9%
強くしようという意欲である	71.6%
レベルの高い試合や選手を VTR で見る	59.4%
レベルの高い選手を指導する	50.0%
指導回数や時間を多くする	44.2%

運動観察の能力の養成には、レベルの高い選手や自チームを指導することより、レベルの高い試合や選手を見ることの方が関係が深いとされている。「見る」にしても VTR ではなく、直接見ることが最も関係あると考えられている。運動を見る目は訓練すればよくなると考えているコーチは、「非常に」「かなり」を合わせ47.5%である。養成の方法は43.9%は

複数以上あるはずだと答えていた。

(4) 運動観察に関する情報について

先輩コーチや講習会・本などからの、運動を見る目に関する情報についての質問と回答を次に示す。

運動を見る目についての指導を、先輩コーチに受けたことがありますか

非常に多く受けた	15	5.4%
たびたび受けた	66	23.7%
受けたことがある	128	46.0%
ほとんどない	51	18.3%
まったくない	17	6.1%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

コーチ研修会などで、運動を見る目の必要性について聞いたことがありますか

非常に多く聞いた	11	4.0%
たびたび聞いた	45	16.2%
聞いたことがある	110	39.6%
ほとんどない	88	31.7%
まったくない	23	8.3%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

コーチ研修会などで、運動を見る目の養成方法を聞いたことがありますか

非常に多く聞いた	5	1.8%
たびたび聞いた	27	9.7%
聞いたことがある	87	31.3%
ほとんどない	126	45.3%
まったくない	32	11.5%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

本で、運動を見る目の必要性について読んだことがありますか

非常に多くある	4	1.4
たびたびある	33	11.9%
読んだことがある	123	44.2%
ほとんどない	101	36.3%
まったくない	17	6.1%

計 278 100.0%

本で、運動を見る目の養成法について読んだこと

がありますか

非常に多くある	4	1.4%
たびたびある	23	8.3%
読んだことある	96	34.5%
ほとんどない	129	46.4%
まったくない	26	9.4%

計 278 100.0%

運動観察について、コーチ研修会や本などで、必要性や養成方法をたびたびより多く読んだり聞いたことがあるという答えは低く、先輩コーチから指導を受けたという答の方が高くなっていった。

(5) その他

運動観察に関するその他の質問と回答である。

指導に VTR などの視覚機器を使っていますか

よく使う	60	21.6%
ときどき使う	110	39.6%
使うことがある	66	23.7%
ほとんど使わない	37	13.3%
まったく使わない	5	1.8%

計 278 100.0%

VTR などは指導に役立つと思いますか

非常に役立つ	66	23.7%
かなり役立つ	109	39.2%
役立つ	101	36.3%
ほとんど役立つ	1	0.4%
まったく役立つ	1	0.0%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

運動を見る目は、生まれつきの素質によって違うと思いますか

非常に違う	24	8.6%
かなり違う	71	25.5%
違う	105	37.8%
ほとんど違う	73	26.3%
まったく違う	3	1.1%
無回答	2	0.7%

計 278 100.0%

運動を見る目の必要性は、どの程度だと思いますか

非常に必要である	168	60.4%
----------	-----	-------

かなり必要である	89	32.0%
必要である	20	7.2%
あまり必要でない	0	0.0%
まったく必要ない	0	0.0%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

自分の運動を見る目は、どの程度だと思いますか

非常によい	16	5.8%
かなりよい	95	34.2%
普通	139	50.0%
あまりよくない	24	8.6%
悪い方	3	1.1%
無回答	1	0.4%

計 278 100.0%

自分の運動を見る目に満足していますか

非常に満足	5	1.8%
かなり満足	35	12.6%
満足	79	28.4%
やや不満足	111	39.9%
不満足	43	15.5%
無回答	5	1.8%

計 278 100.0%

運動観察と関係が深いと思われる VTR の使用については、60%以上がかなり使い、役立つと答えていた。運動観察は先天的に「非常に」「かなり」違うとするのが34.1%であった。運動観察の能力の必要性はほとんどが認めていた。自分自身の運動観察の能力については「非常によい」「かなりよい」が40.0%、「普通」50.0%であった。自分の運動観察の能力に42.8%が満足、55.4%が不満足だと回答している。

(6) 回答の種目別差異について

回答を種目別にクロス集計し、 χ^2 検定した結果、次の3項目に5%水準で有意差が認められた。

運動観察の能力は「現役選手としてのレベルが高ほど良いと思う」という回答が、他の種目では20%台であるのに対し、サッカーでは50%以上と異なった傾向を示した。運動観察の能力の訓練方法について、ラグビーとサッカーが60%近くがかなりあると答えているのに対し、野球が24%と最も低くサッ

表1 種目別に違いの認められた質問項目と回答数・回答率

運動を見る目は、現役時代の選手としてのレベルが高い程良い、と思いますか								
種目	まったく その通り	かなり 関係ある	関係ある	ほとんど 関係ない	まったく 関係ない	無回答	計	
ラグビー	0 (0.0)	10 (29.4)	5 (14.7)	18 (52.9)	1 (2.9)	0 (0.0)	34 (100.0)	
サッカー	1 (3.4)	14 (48.3)	7 (24.1)	5 (17.2)	1 (3.4)	1 (3.4)	29 (100.0)	
バスケット	1 (1.8)	15 (26.8)	13 (23.2)	24 (42.9)	3 (5.4)	0 (0.0)	56 (100.0)	
バレー	0 (0.0)	16 (22.5)	17 (23.9)	34 (47.9)	4 (5.6)	0 (0.0)	71 (100.0)	
野球	0 (0.0)	3 (10.3)	6 (20.7)	16 (55.2)	4 (13.8)	0 (0.0)	29 (100.0)	
陸上競技	0 (0.0)	12 (20.3)	12 (20.3)	34 (57.6)	1 (1.7)	0 (0.0)	59 (100.0)	
計	2 (0.7)	70 (25.2)	60 (21.6)	131 (47.1)	14 (5.0)	1 (0.4)	278 (100.0)	

運動を見る目の養成のための訓練方法はあると思いますか								
種目	数多くあ ると思う	いくつか あると思う	ある と思う	ほとんどな いと思う	まったく ないと思う	無回答	計	
ラグビー	3 (8.8)	17 (50.0)	11 (32.4)	2 (5.9)	1 (2.9)	0 (0.0)	34 (100.0)	
サッカー	4 (13.8)	7 (24.1)	18 (62.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	29 (100.0)	
バスケット	11 (19.6)	21 (37.5)	18 (32.1)	5 (8.9)	1 (1.8)	0 (0.0)	56 (100.0)	
バレー	6 (8.5)	19 (26.8)	39 (54.9)	7 (9.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	71 (100.0)	
野球	0 (0.0)	7 (24.1)	18 (62.1)	4 (13.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	29 (100.0)	
陸上競技	7 (11.9)	20 (33.9)	26 (44.1)	3 (5.1)	0 (0.0)	3 (5.1)	59 (100.0)	
計	31 (11.2)	91 (32.7)	130 (46.8)	21 (7.6)	2 (0.7)	3 (1.1)	278 (100.0)	

指導にビデオなどの視覚機器を使用していますか								
種目	よく使う	時々使う	使うこと がある	ほとんど 使わない	まったく 使わない	無回答	計	
ラグビー	19 (55.9)	12 (35.3)	2 (5.9)	0 (0.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	34 (100.0)	
サッカー	12 (41.4)	12 (41.4)	1 (3.4)	3 (10.3)	1 (3.4)	0 (0.0)	29 (100.0)	
バスケット	10 (17.9)	23 (41.1)	17 (30.4)	6 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	56 (100.0)	
バレー	4 (5.6)	27 (38.0)	22 (31.0)	16 (22.5)	2 (2.8)	0 (0.0)	71 (100.0)	
野球	3 (10.3)	14 (48.3)	9 (31.0)	2 (6.9)	1 (3.4)	0 (0.0)	29 (100.0)	
陸上競技	12 (20.3)	22 (37.3)	15 (25.4)	10 (16.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	59 (100.0)	
計	60 (21.6)	110 (39.6)	66 (23.7)	37 (13.3)	5 (1.8)	0 (0.0)	278 (100.0)	

カーとバレーボールも30%台であった。指導にVTRなどの視覚機器をときどき以上使用しているのは、ラグビー91.2%・サッカー82.8%と非常に高く、バレーボールが43.6%と最低で、他の種目は50%台であった。

(7) 回答の年齢別差異について

年齢別のクロス集計では、表2に示した5項目に有意な違いが認められた。

運動観察の能力の違いに関係ある項目として、「技術などに関する知識の違い」と「年齢によって違う」に、年齢による回答の違いが見られた。「運動観察の能力の養成にはレベルの高い選手や試合のVTRを見ること」と、「訓練によって良くなるかどうか」の回答に年齢による違いが見られた。コーチとしての活動の仕方に、つまり選手や試合を見に出かけるとか各種の催しへの参加経験の程度などに、年齢による違いが回答となって表れているように感じられる。自分の運動観察の能力については、年齢とともに満足の度合いが高くなるという結果が見られた。

考 察

今回の調査の対象者の55%以上は、運動観察の能力に個人差が「かなり」「非常に」あることを認めており、コーチングの現場では運動観察の能力の違いが問題として存在するものと思われる。

運動観察の能力の違いの原因は、「技術やトレーニングについての知識」と「どこを見るかの違いである」という答が80%前後であった。このことと、「現役時代の選手としてのレベルとの関係」は25.9%しか認めていないことを考え合わせると、技術やトレーニングの豊富な知識を持ちポイントを把握することが、コーチングにとって非常に重要であると認識されていることを示していると思われる。

運動観察の能力が「指導年数と関係ある」という項目は53.6%が認め、「年齢との関係」は39.9%と、指導年数のほうが高くなっているが、年齢と指導年数は相関が認められた($r=0.89$ $P<0.01$)。また「動

表 2 - 1 年齢別に違いの見られる項目と回答数・回答率

運動を見る目の違う原因は、技術などの知識の違いであると思いますか							
年 齢	非常に 関係ある	かなり 関係ある	関係ある	ほとんど 関係ない	まったく 関係ない	無回答	計
～27	3 (50.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	2 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)
～31	4 (36.4)	5 (45.5)	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)
～35	11 (31.4)	15 (42.9)	8 (22.9)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (100.0)
～39	13 (32.5)	16 (40.0)	8 (20.0)	2 (5.0)	1 (2.5)	0 (0.0)	40 (100.0)
～43	19 (55.9)	9 (26.5)	5 (14.7)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	34 (100.0)
～47	20 (39.2)	26 (51.0)	5 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
～51	31 (57.4)	17 (31.5)	6 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (100.0)
～55	15 (50.0)	11 (36.7)	4 (13.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	30 (100.0)
～59	3 (30.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100.0)
60～	2 (28.6)	5 (71.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
計	121 (43.5)	111 (39.9)	39 (14.0)	6 (2.2)	1 (0.4)	0 (0.0)	278 (100.0)

運動を見る目と年齢は関係あると思いますか							
年 齢	非常に 関係ある	かなり 関係ある	関係ある	ほとんど 関係ない	まったく 関係ない	無回答	計
～27	0 (0.0)	2 (33.3)	2 (33.3)	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	6 (100.0)
～31	0 (0.0)	3 (27.3)	4 (36.4)	4 (36.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)
～35	0 (0.0)	10 (28.6)	12 (34.3)	11 (31.4)	2 (5.7)	0 (0.0)	35 (100.0)
～39	0 (0.0)	7 (17.5)	15 (37.5)	15 (37.5)	2 (5.0)	1 (2.5)	40 (100.0)
～43	0 (0.0)	13 (38.2)	8 (23.5)	11 (32.4)	2 (5.9)	0 (0.0)	34 (100.0)
～47	1 (2.0)	25 (49.0)	12 (23.5)	11 (21.6)	2 (3.9)	0 (0.0)	51 (100.0)
～51	6 (11.1)	23 (42.6)	9 (16.7)	12 (22.2)	4 (7.4)	0 (0.0)	54 (100.0)
～55	3 (10.0)	9 (30.0)	6 (20.0)	11 (36.7)	1 (3.3)	0 (0.0)	30 (100.0)
～59	0 (0.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100.0)
60～	0 (0.0)	4 (57.1)	0 (0.0)	3 (42.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
計	10 (3.6)	101 (36.3)	68 (24.5)	83 (29.9)	14 (5.0)	2 (0.7)	278 (100.0)

運動をみる目の養成は、レベルの高い試合や選手のVTRを見ることと関係あると思いますか							
年 齢	非常に 関係ある	かなり 関係ある	関係ある	ほとんど 関係ない	まったく 関係ない	無回答	計
～27	1 (16.7)	2 (33.3)	2 (33.3)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)
～31	0 (0.0)	10 (90.9)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)
～35	3 (8.6)	12 (34.3)	14 (40.0)	5 (14.3)	0 (0.0)	1 (2.9)	35 (100.0)
～39	1 (2.5)	19 (47.5)	16 (40.0)	3 (7.5)	1 (2.5)	0 (0.0)	40 (100.0)
～43	5 (14.7)	14 (41.2)	9 (26.5)	6 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	34 (100.0)
～47	7 (13.7)	24 (47.1)	20 (39.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
～51	6 (11.1)	30 (55.6)	14 (25.9)	4 (7.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (100.0)
～55	4 (13.3)	16 (53.3)	7 (23.3)	3 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	30 (100.0)
～59	1 (10.0)	5 (50.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	10 (100.0)
60～	0 (0.0)	5 (71.4)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
計	28 (10.1)	137 (49.3)	87 (31.3)	22 (7.9)	3 (1.1)	1 (0.4)	278 (100.0)

運動を見る目は訓練をすれば良くなると思いますか							
年 齢	非常に よくなる	かなり よくなる	よくなる	ほとんど 変わらない	まったく 変わらない	無回答	計
～27	0 (0.0)	3 (50.0)	2 (33.3)	1 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)
～31	1 (9.1)	7 (63.6)	3 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (100.0)
～35	5 (14.3)	13 (37.1)	13 (37.1)	4 (11.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (100.0)
～39	5 (12.5)	9 (22.5)	18 (45.0)	8 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	40 (100.0)
～43	3 (8.8)	14 (41.2)	14 (41.2)	3 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	34 (100.0)
～47	2 (3.9)	23 (45.1)	20 (39.2)	5 (9.8)	1 (2.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
～51	9 (16.7)	17 (31.5)	24 (44.4)	4 (7.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (100.0)
～55	4 (13.3)	8 (26.7)	16 (53.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	0 (0.0)	30 (100.0)
～59	0 (0.0)	5 (50.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	10 (100.0)
60～	0 (0.0)	4 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
計	29 (10.4)	103 (37.1)	115 (41.4)	27 (9.7)	3 (1.1)	1 (0.4)	278 (100.0)

表 2-2 年齢別に違いの見られる項目と回答数・回答率

年 齢	自分の運動を見る目に満足していますか						計
	非常に満足	かなり満足	満足している	やや不満足	不満足	無回答	
～27	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	4 (66.7)	0 (0.0)	6 (100.0)
～31	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (18.2)	6 (54.5)	3 (27.3)	0 (0.0)	11 (100.0)
～35	0 (0.0)	3 (8.6)	9 (25.7)	15 (42.9)	8 (22.9)	0 (0.0)	35 (100.0)
～39	0 (0.0)	1 (2.5)	6 (15.0)	29 (72.5)	4 (10.0)	0 (0.0)	40 (100.0)
～43	2 (5.9)	4 (11.8)	9 (26.5)	11 (32.4)	6 (17.6)	2 (5.9)	34 (100.0)
～47	0 (0.0)	5 (9.8)	18 (35.3)	20 (39.2)	7 (13.7)	1 (2.0)	51 (100.0)
～51	0 (0.0)	13 (24.1)	18 (33.3)	16 (29.6)	6 (11.1)	1 (1.9)	54 (100.0)
～55	1 (3.3)	5 (16.7)	8 (26.7)	11 (36.7)	5 (16.7)	0 (0.0)	30 (100.0)
～59	2 (20.0)	3 (30.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	10 (100.0)
60～	0 (0.0)	1 (14.3)	5 (71.4)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (100.0)
計	5 (1.8)	35 (12.6)	79 (28.4)	111 (39.9)	43 (15.5)	5 (1.8)	278 (100.0)

きの速さについていけるかどうかだ」という回答は48.6%であり、この2つの要素は矛盾するともとえられるので、このあたりに運動観察の能力の複雑性が表われていると思われる。

運動観察の能力が養成されるするのは、「レベルの高い選手や試合を見る」と「強くしようという意欲」と関係が深いことを70%以上が認めていたが、コーチが他校や大学・社会人チームなど強い選手やチームを見に出かけたり、試合があると欠かさず観戦しているようすがうかがわれる。また強くしたいと願って指導しているうちに、選手の動きの善し悪しが見えるようになったという経験が表れた回答であると思われる。その一方でこの2項目に比べ「選手や試合をVTRなどで見ること」「レベルの高い選手を指導すること」や「指導時間・回数を多くすること」などとの関係が低い回答率になっているのも、コーチの体験からでたものと思われる。

運動観察の情報として、運動観察の必要性について、たびたびより多く「コーチ講習会などで聞いた」「本で読んだ」ことがあるのは、20.2%と13.3%と低くなっていた。講習会や本で養成方法に触れたことがあるのは、それぞれ11.5%と9.7%とさらに低かった。運動観察の能力の必要性について、まだ十分に認識されていないか、養成方法が分からないため、コーチ講習会や本などでも触れられることが少ないものと思われる。したがって現場のコーチは運動観察について「先輩コーチから指導を受けた」ことが、たびたびより多くあるという回答が29.1%と最も多いことにつながっていると思われる。

現場のコーチの間では運動観察の能力は訓練によって良くなり、訓練の方法はあるはずだと考えられていると思われる。運動観察の補助の一つと思われるVTRなどの機器はかなり使われ、指導に役立つとされている。

運動観察の能力は訓練で良くなると考えながら、「生まれつきの素質によって違う」ことも34.1%が感じていた。コーチは運動観察の能力は訓練によってよくなるが、訓練の限界も感じているのであろう。コーチたちは運動観察の必要性を認め、自分の能力は普通かよい方だと思っているが、満足はしていないと答えていた。

回答に種目別の違いが見られたのは3項目であった。「運動観察の能力と現役選手としてのレベルの関係」をサッカーのコーチたちはかなり高い率で認め、「養成方法があるという回答」も低くなっており、これはサッカーの特性であるのか、今後の研究課題となろう。VTRの使用も種目別に違いがみられるが、球技種目のなかでバレーボールの使用率が低い理由についても調査する必要がある。

年齢による回答には、表2の5項目に違いが認められた。いずれも運動観察の能力が何によって違ってくるかに関する項目と考えられる。運動観察の能力の違いの原因のとらえ方は、年齢つまり指導経験の長くなるに従って、次第に経験や訓練の意義を認める率が高くなるという傾向を示していた。

まとめ

コーチングに大きな意味を持つ運動観察の能力について、コーチがどのようにとらえているかを知り、運動観察の能力の養成などについて検討する資料を得ることを目的に、全国高校大会出場校のコーチを対象に、運動観察について質問紙法によって調査し、次のような結果を得た。

- ① 運動観察の能力について、高校全国大会出場校のコーチは必要性を認め、養成方法があるはずだととらえていた。
- ② 運動観察について聞いたり読んだりしたことは少なく、訓練を受けた経験は非常に少ない。
- ③ 運動観察の能力は、個人差があることを認め、それが生まれつきの素質によって違うことも認めているが、一方では、種目の技術などの知識や指

導意欲、そして経験年数など、指導者としての努力によって身につけられるものととらえられていた。

運動観察の能力について、要因を解明し養成方法の確立が課題であると思われるが、本研究の結果、運動観察の能力の要因や養成法について、現場のコーチの経験が大きな意味を持つことが示唆された。今後コーチの活動をととして、運動観察の能力の養成法について研究を進めたい。

文 献

- 1) 加藤謙一・宮丸凱史 1994 運動観察力に関する研究 日本体育学会第44回大会
- 2) マイネル, K 金子明友訳 1981 スポーツ運動学 大修館書店